

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人至誠学舎東京
事業所名称	吉祥寺ナーシングホームデイサービスセンター
事業所所在地	東京都武蔵野市吉祥寺北町2丁目9番2号
事業所電話番号	0422-20-0886

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<p>1)法人の理念 誠の心</p> <p>2)真心を込めた丁寧な福祉サービス (本物を追求し、奉仕の心をもって仕事をすすめる創設の精神を活かします。)</p> <p>3)「ご利用者・家族との信頼による絆」 (サービスを通じて世代を超えたつながりを大切にします。)</p> <p>4)福祉コミュニティの協創(私たちの事業を地域の財産と考え、その価値の向上に努めます。)</p> <p>5)仕事を通じた職員の自己実現(自らの専門能力の向上を図り、互いを活かしかう職場にします。)</p>

全体の評価講評

特に良いと思う点

・認知機能や身体機能の維持に向けて外部講師やボランティアと協力しながら音楽や体操、レクリエーションなど多種多様な活動を展開している

事業所では認知機能や身体機能の維持に向けた多種多様な活動を展開している。身体機能維持に向けた活動としてはADL体操や外部講師による盆パラピクス、ヨガ体操などがあり、コスモス倶楽部で行っている手芸や書道、折り紙、季節の装飾作りなども手先の機能維持として取り組まれている。主に午後の時間帯に行われているレクリエーションや音楽療法、華道、茶道、俳句、フラワーアレンジメント、カラオケなどは楽しみながら講師や職員、他利用者との交流を持ち、集中力や意欲の向上といった認知機能の向上に繋がる活動として取り組まれている。

・機能訓練指導員と連携を図りながら個別機能訓練計画書を作成し、利用者個々の要望に合った個別訓練を実施し、機能維持に努めている

機能訓練を希望する利用者に対して機能訓練指導員と連携を図りながら「個別機能訓練計画書」を作成し、個々の要望に合わせた訓練を実施している。計画書作成時には自宅訪問して在宅生活の様子を含めた聞き取りを行ない、3ヶ月に一度実施、評価、見直しのモニタリングを実施して、無理なく機能維持に向けた訓練を継続していけるようにしている。個別訓練は1回20分を目安に歩行訓練やストレッチ、リハビリボール、セラバンドを活用した訓練等を行っており、併せて集団体操やレクリエーション活動等楽しみながら身体を動かしていく機会を設けている。

・認知症の利用者が増えてきているため、職員は認知症介護実践者研修を受講して、認知症の理解及び適切な対応に努めている

近年デイサービスの利用者は、認知症の診断を受けている方の利用が多くなってきており、その傾向は今後益々増えていくと考えられる。その為デイサービスの職員には、認知症介護の専門職を養成することを目的とした「認知症介護実践者研修」を順次受講させている。それによって、介護職員個々のスキルが上がり、多くの職員がこの研修を受講していることで、認知症のチームケアが実践されている。経験や感覚に頼らない認知症ケアの実践ができるようになってきており、認知症の利用者や家族が安心してデイサービスを利用する環境が整えられている。

さらなる改善が望まれる点

・稼働率向上に向け、提案制度等、職員のアイデアをサービス内容に反映できる仕組みの構築に期待したい

稼働率向上を重点項目とし、祝日営業の開始、ボランティアの受入、クラブ活動の再開等進めているが、コロナ禍の利用控えが尾を引き、目標値には届いていない。ケアマネジャーへの営業活動等も行っているが、独自の魅力をアピールしていく必要性を認識している。他事業所の様子等、利用者が求めているサービス内容の情報収集に加え、個々の職員からもアイデアを募る等、魅力あるデイサービスへの検討を更に進める必要がある。職員のアイデアをサービス内容に反映するしくみの構築に期待したい。

・室長の兼務状態が長期化しており、経営課題への対応や将来的な事業の継続性に対応するためにも、次世代を担う人材の育成に期待する

事業所では、デイサービスの室長を施設長が兼務しており、週に1日はデイサービスの送迎も担っている。介護人材が厳しい中、現場を経験し、理解ある管理者がサポートしてくれることは職員にとっては負担が軽減されるだけでなく、現場の大変さや課題を共有してもらえると利点も多くあることは理解できる。しかし、兼務による経営や健康面などの弊害やデイサービスの将来的な事業の継続性等を考えると、新規採用や法人内異動も含めてデイサービス職員の人員の確保や、専任室長の是非、次期室長や主任候補等、次世代を担う人材の育成に期待する。

・

事業者が特に力を入れている取り組み

・利用が低迷していたが、半日デイの実施等の努力で稼働が上向きになってきている

コロナ禍以降デイサービスの稼働は50%程度と低迷し、厳しい経営状況となっている。そこで近隣のケアマネ事業所や包括支援センターなどに利用のニーズを確認したり、利用者や家族に意見を求めるなどを行い、室長、主任以下職員全員で検討を重ねてきた。その結果、半日デイの実施、入浴回数の増加、ボランティアによるレクリエーションの再開等により、稼働が60%まで増えてきている。現場からは「入浴後衣類を洗濯して返す事はできるのでは？」等の提案も出ており、特養と併設する事業所の強みとして新しいサービス構築に向けた検討を重ねている。

・利用者や家族がイメージしやすいパンフレットをデイサービス独自に作成している

近年デイサービスは新型コロナウイルス感染症の影響でどの事業所も稼働が低くなっている状況である。しかし、デイサービスの意義として入浴等や、介護予防としての個別機能訓練、長時間滞在することによるレスパイト機能、社会参加、生きがい等の機能等を有している。そこで今回デイサービスではパンフレットをA4からA3に変更、食事や活動風景など写真をふんだんに使い、利用者や家族が見てわかるパンフレットにリニューアルしている。実際に近隣の居宅介護支援事業所などに配布した事もあって、利用の問い合わせが増えるなど効果が出ている。

・利用者懇談会等で意見や要望を聞き取り、柔軟に日々の支援に反映させている

事業所では年に一度「利用者懇談会」を開催し、食事内容や祝祭日の利用について、現在の座席について、今後やってみたい活動についてなどの意見を聞き取り、支援に反映させている。懇談会は各テーブルに職員が意見を聞きに行く形で行われており、利用者から今の座席は冷房が当たる、日差しが眩しいといった意見が出た場合には都度座席の変更を行うなど柔軟に対応している。また、活動への参加についても利用者自身が選択できるようになっており、一人の時間をゆっくりと過ごすことも受け入れるなど利用者の意向を第一に支援にあたっている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

20/50

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	80.0%	20.0%	いいえ : 0.0%	無回答・非該当 : 0.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	75.0%	10.0%	15.0%	無回答・非該当 : 0.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	65.0%	20.0%	15.0%	いいえ : 0.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	90.0%	5.0%	5.0%	いいえ : 0.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	85.0%	10.0%	5.0%	いいえ : 0.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	75.0%	15.0%	10.0%	いいえ : 0.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	90.0%	5.0%	5.0%	いいえ : 0.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	95.0%	5.0%	どちらともいえない : 0.0%	いいえ : 0.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	75.0%	5.0%	20.0%	いいえ : 0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	90.0%	5.0%	5.0%	いいえ : 0.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	80.0%	15.0%	5.0%	いいえ : 0.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	80.0%	10.0%	10.0%	いいえ : 0.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	95.0%	5.0%	いいえ : 0.0%	無回答・非該当 : 0.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	95.0%	5.0%	どちらともいえない : 0.0%	いいえ : 0.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	50.0%	20.0%	5.0%	25.0%